

RHYTHM

電波時計 取扱説明書 (照明付掛時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 暗くなると文字盤を照明します
- 明るさを無段階調節することができます

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1408)

おもな製品仕様

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (温度が5～35℃のとき)

使用温度範囲 -10℃～50℃ *結露しないこと

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 6個

電池寿命 下記「電池寿命と使用条件」参照

標準電波 標準電波を受信して時刻を修正

受信局 福島局/九州局 自動選択

受信回数 最少 1回/日、最多 6回/日*

受信機能 ボタン操作でON/OFF切り替え

サーチ機能 受信局、電波の強弱表示

手動時刻合わせ ボタン操作

照明機能 明暗センサーと連動して暗いところで文字盤を照明

明るさ調節 ロータリー式 無段階調節

電池の交換時期 秒針が常時12時位置に停止

お知らせ機能

電池寿命と使用条件 自動照明を1日あたり8時間使用

照度調節つまみ位置 最小(●暗) 中間位置 最大(●明)

電池の寿命 約2年 約1年6ヵ月 約1年

*電池は照明機能を使わないと長持ちしますが、電池からの液漏れを防止するため、5年以内に交換してください。

*電池寿命は、標準電波の受信に成功しているときのものです。

*受信回数と受信開始時刻

受信回数や開始時刻は受信状態により変化します。

2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒

2時16分20秒は必ず受信を行う。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

電池 6個、木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本、取扱説明書 本書、保証書 1枚

お問い合わせ先

お客様相談室 **0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 8MY○○○、8MYA○○○

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



必ず守る

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



禁止

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●液漏れしたときは、電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



必ず守る

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。



禁止

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。



禁止

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で触らない
さびや故障の原因になります。



禁止

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。



禁止

下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 暖房機器からの風が直接当たる所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

電波時計について

電波時計とは

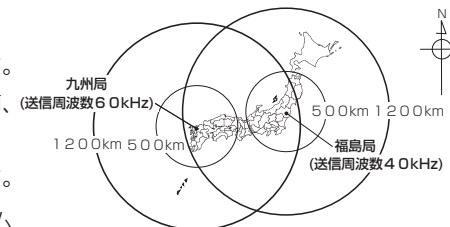
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。

ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

*標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に常時停止します。また、電波の受信と照明機能が停止します。このような状態になったときは、すべての電池を交換してください。

*時計と分針はこのような状態になってからおよそ1ヵ月前後動きます。



注意

電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても照明の使いかたに応じて定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。

推奨される電池

- ①電池に「月一年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先のもの
例. 2014年2月に交換→「02-2018」より先の「使用推奨期限」表示がある電池
- ② 同一メーカー、同一種類、同一「使用推奨期限」のもの
- ③ 未使用の単3形アルカリ乾電池

使用推奨期限の表示例→

03-2018

「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保証できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使うことはできますが、本来の性能を発揮することができません。電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちていくためです(自然劣化)。

電池の種類について

- マンガン乾電池はアルカリ乾電池に比べて電池寿命が短くなります。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。



03-2018

